



### 12/20 校庭の砂から鉱物探し 博物館冬の子ども工作教室

博物館冬の子ども工作教室「校庭の砂から鉱物をさがそう!」は、同館で開催されました。

参加者は、鉱物の歴史を聞いた後、配布された南極やサハラ砂漠などの実物の砂を観察。その後、黒沢尻東小学校、北上中学校などの校庭の砂から、ピンセットで高温石英などを採集して標本を作製しました。

千田彩奈さん(飯豊小4年)は「採集に苦労したが、鉱物を探せて楽しかった」と目を輝かせていました。



### 1/7 新年行事で地域の絆を深める 世代をつなぐ会

世代をつなぐ会(江釣子16区自治会主催)は、江釣子16区公民館と江釣子勤労者体育センターで開かれ、同区住民など約50人が参加しました。

参加者は、輪投げや餅つき、みずぎ飾りを体験。幅広い世代が集まり、新年行事を通じて交流を深めました。

浅沼愛渚さん(江釣子小5年)は「初めて餅つきをして楽しかった」、弟の拳士君(同2年)は「みずぎ飾りの団子を大きく作って飾った」と笑顔を見せました。

### 12/20 心を静めて自分と向き合う 永昌寺寺子屋 冬の修行体験

永昌寺寺子屋の冬の修行体験(寺子屋の会主催)は、永昌寺で開かれました。

同イベントは年6回開催される寺子屋事業の一環で、子どもから大人まで9人が参加しました。座禅では海野義範住職が足や手の組み方、呼吸法を丁寧に指導。写仏では、仏様の姿を心を込めて仕上げていました。

宮田一路君(二子小6年)は「心を無にして、座禅に取り組むことができた」と穏やかに話しました。



### 1/6 中身は開けてからのお楽しみ 貸出☆本の福袋

貸出☆本の福袋は、中央・江釣子・和賀図書館で行われました。

子ども用(3冊入り)と大人用(1冊入り)の福袋が用意され、来館者は福袋の内容をイメージできる一言ヒントを読みながら、思い思いに選んでいました。

佐々木直輝君(黒沢尻東小3年)は「読むのが楽しみ」、妹の優希ちゃん(専修大学北上幼稚園・6歳)は「気に入る本が入っていたらうれしい」と話しました。



## まちの話題

市内の話題を紹介



### 12/16 長年の畜産業の取り組みが評価 千葉洋子さんが緑白綬有功章を受章

農事功績者表彰事業で「緑白綬有功章」を受章した千葉洋子さん(和賀町藤根・73歳)は、八重樫市長と八重樫副市長に受章を報告しました。

千葉さんは家族で肉用牛を中心とした経営を展開。新技術や生産効率化の取り組みを地域に広めるなど、畜産業に貢献してきた功績が評価されました。

千葉さんは「ここまで来るのに多くの人の力添えがあり、ただただ感謝です」と語りました。

### 12/13 飾り付けたはごいたで迎えるお正月 はごいた作り

はごいた作り(NPO法人フォルダ主催)は、サンレック北上で行われました。

同団体が手作りのお正月飾りで新年を迎えてほしいと企画し、市内外から11人が参加。色とりどりの花やりぼん、水引などを使って、配置を考えながら長さ30cmのはごいたへ思い思いに飾り付けをしました。

和賀柚梨さん(南小5年)は「楽しかった。自分の部屋の棚に飾りたい」と充実感に満ちていました。



### 12/20 エネルギーを実験と体験で学ば きたかみこども環境未来塾

きたかみこども環境未来塾は、市本庁舎で開催されました。

参加した15組の親子は、エネルギーをテーマにしたクイズに挑戦しながら、エネルギーの基礎を学習したほか、組み立てたソーラーハウスに取り付けた電球の点灯や実験などを通して理解を深めました。

高橋空蒼君(笠松小3年)は「ソーラーハウスを作ったことが一番楽しかった」と笑顔で話しました。

### 12/18 安全で安心なまちづくりへ 交通安全のつどい2025

交通安全のつどい2025(北上地区交通安全対策連絡協議会主催)は、さくらホールfeat. ツガワで開かれました。

当市と西和賀町の関係機関などから、174人が参加。交通事故防止などに向けて、地域が一体となって安全で安心なまちづくりを進める決意を新たにしました。

同協議会会長の八重樫市長は「飲酒運転は絶対にしない、させない、許さないという強い気持ちを地域に広げてほしい」と呼びかけました。

